

のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



特集 第4期きずな計画策定へ

ふれあい・いきいきサロン「ちょこっと茶屋の会」の手作り弁当のお届けの様子です。
集まらない代わりにサロンサポーターが昼食をつくり、参加していた高齢者宅へ届け交流しました。

CONTENTS

- P2 特集 第4期きずな計画策定へ
- P4 じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金
- P5 2021年度ご当地バッジが完成しました
- P6 ボランティア活動ICT強化事業・寄付一覧
- P7 社協新体制のご報告・きずなのまちびと
- P8 民児協との連携により事業を拡充します
町内会に加入しましょう



2021
09.01 No.152

[発行] 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
[事務局] 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センターしんた21内
[TEL] 0143-88-0860
[FAX] 0143-88-4546
[mail] info@kizuna-shakyo.jp
[HP] https://kizuna-shakyo.jp
[Facebook] https://www.facebook.com/kizunashakyo/



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

特集

第4期きずな計画策定へ

ひとりの幸せを支え合うまちづくりを目指して

登別社協では、地域福祉活動に日頃から取り組む地域の方々に構成される「きずな推進委員会」と共に、5年間でこのまちの福祉をどのように進めていくかを具体的に定める「登別市地域福祉実践計画（愛称きずな計画）」を策定しています。

平成18年から5か年を1期として取り組むきずな計画は、現在第3期の最終年度となり（コロナ禍のため第3期は1年延長）、次の第4期の策定期間を迎えています。今年度の社協だよりでは、年間特集として計画策定に向けた動きをお伝えします。

◆地域福祉実践計画とは

地域福祉に関する計画として「地域福祉計画」と「地域福祉実践計画」があります。行政が策定する地域福祉計画は、行政計画として地域福祉推進のあり方を具体化する計画です。一方、市町村社協が策定する地域福祉実践計画は、地域において活動を担う地域住民やボランティア団体、NPO等の民間団体の自主的・自発的な福祉活動を中心とした民間の活動・行動計画と定義されています。住民自身が自分の地域の福祉問題を協議し、地域のサービスマスや資源の状況を知り、関係者と連携し合っ

て、地域として取り組む福祉活動や福祉のまちづくりを考えるという策定のプロセスを重視しています。

定、取り組み、解決方法や担い手等において異なる側面を持っていますが、同じ福祉のまちづくりを進めるものとしてお互いに協働・補完、連携・役割分担することが重要となります。

登別市でも地域福祉実践計画と地域福祉計画の策定が一体的に進められています。

◆これまでのきずな計画策定プロセス

きずな計画の策定においては、アンケート調査と住民座談会を通して、市民の声を反映することを大切にしてきました。

アンケート調査では17年前の第1期計画策定時に、市連合町内会の全面的な協力のもと約2万世帯にアンケート用紙を配布し、58.2%にのぼる11,138世帯から声が寄せられました。

また、住民座談会は各小学校校区において、自分の住む地域の課題や想いについて語り合い理解を深めるとともに、定期的に地域の状況を共有することのできる貴重な機会として毎年開催していました。

「市民の声を反映した計画策定を行う」というきずな推進委員会の想いは、今も引き継がれている一方、第4期計画策定においては、新型コロナウイルス感染症の影響により大勢で集まり話し合う機会を設けることが難しいと想定されています。

◆コロナ禍での第4期計画策定がスタート

《第1回きずなリーダー会議》

4月28日に開催した、各小学校区きずな推進委員会のリーダー・サブリーダーが集まる第1回きずなリーダー会議では、新型コロナウイルス感染症の影響により住民座談会等の開催が難しいことを前提に、きずなリーダー会議を中心として小学校区ごとの市民の声を反映していくことや、アンケート調査によるきめ細やかな策定を基本に取り進むことを確認しました。

また、計画骨子の作成や市との連携役として新たにプロジェクトチーム（以下PT）を設置することとなりました。

PT構成委員

- ・ 田淵純勝さん／きずな推進委員長
- ・ 田中秀治さん／専門委員会リーダー
- ・ 中原義勝さん／鷺別小学校区リーダー
- ・ 瀧川正義さん／富岸小学校区リーダー



《第1回PT会議》

緊急事態宣言の明けた6月30日に開催した第1回PT会議では、アンケート調査の内容について協議しました。

コロナ禍で住民座談会の開催が難しい可能性が高い今回の第4期計画の策定では、アンケート調査を通して「ひとりの幸せを支え合う」ということを考え、市民の意見を取り入れることがより重要となります。PTでの検討も踏まえ、アンケート調査は日頃地域で福祉活動やボランティア活動に取り組み福祉活動実践者と、市内の福祉事業所に向けた2種類を用意し実施することとなりました。

【調査期間】

2021年7月17日～2021年8月13日

※アンケート結果の速報は次回社協だより（11月1日発行）でお伝えします

また、今後緊急事態宣言等で集まらない時期にもインターネットを活用してPTを開催することができるよう、その方法について確認を行いました。

「第3期計画よりさらに良い計画を」

PT委員 瀧川正義さん

私は第3期計画の策定時に設置したアンケート調査に関するPTにおいてリーダーを務めました。今回もお声がけをいただき、身を引き締まる想いと同時に、

前回の経験を活かしたいと考えています。あわせて、PTメンバーの皆さんと活発な意見交換をしながら検討できればと思っています。今回のアンケート項目においても意図や想いを込めました。その結果をこの後どのように計画策定に反映できるか考えながら、より良い福祉の実践につながるものになりたいと思っています。身近な校区の福祉について考え、「住みよいまちづくり」を行うことがきずな活動の魅力だと思っています。今後は市民への周知により力を入れながら、きずな活動の輪を広げていきたいです。

◆より良い策定に向け学び合う記念講演会

7月9日、第3期登別市地域福祉計画と第4期登別市地域福祉実践計画の策定開始を記念した講演会のリモート収録を行いました。

講師として、日本福祉大学教授の原田正樹先生にご協力いただき、今の日本の状況や制度だけでは解決が難しい課題、それらを踏まえたこれからの地域福祉の柱となる「地域共生社会」について講演いただきました。

また、登別で日頃行われている福祉活動や地域の实情について、3名の方に発表いただきました。



・「コロナ禍で地域のつながりをつくる活動」

新生町望洋町内会 福祉部長 大島蓉子さん

・「暮らしに悩みを抱える世帯に寄り添う活動」

中央東地区民生委員児童委員協議会

会長 竹中洋子さん

・「校区の課題をきずなで支える活動」

鷲別小学校校区きずな推進委員会

リーダー 中原義勝さん

【地域共生社会とは】

社会からの孤立や心身の問題等を複合的に抱え、ひとつの制度や機関だけでは対応が難しい世帯が地域の中に増えていることから、制度・分野ごとの「縦割り」や、「支え手」「受け手」という関わり方をゆるめながら、地域の方々が様々な機関がつながり協働していくことで、誰もがより生きやすい地域の実現を目指すものです。

原田先生が座長を務めた「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」において協議・検討されました。

収録した講演は、今後地域の集まり等で上映していく他、本会YouTubeチャンネル「登別社協きずなチャンネル」でも配信を予定しています。ご希望の方には視聴URLをお送りしますので、登別社協までご連絡ください。

PICK UP!

第3期計画の校区評価を行いました

各小学校校区のきずな推進委員会では、第3期計画の評価を行いました。コロナ禍の状況を鑑み、書面で委員と協議しながらの評価作業となりました。

完成した各小学校校区の評価は、本会ホームページからご覧いただけます。

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動を開始します。登別市内で集まる募金は、全道規模の福祉活動への一部助成を除き、残りの全てが、皆様が地域で日頃から取り組んでいる市内の地域福祉活動を応援するために活用されます。(翌年の活動に助成されます)

依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いておりますが、感染予防に留意しながら運動を展開してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

登別で行われている募金活動

- 戸別募金** … 町内会を通じて各家庭に寄付を呼びかけます。(封筒募金等)
- 街頭募金** … ボランティアの皆さんが街頭に立ち、寄付を呼びかけます。
- 法人募金** … 企業等を訪問して寄付を呼びかけます。
- 篤志家募金** … 個人宅を訪問して寄付を呼びかけます。
- 職域募金** … 会社等の職場内で寄付を呼びかけます。
- イベント募金** … 各種イベントで寄付を呼びかけます。
- 学校募金** … 学校内で寄付を呼びかけます。
- その他の募金** … ご当地バツジや寄付金付き商品等で寄付を呼びかけます。

赤い羽根の応援サポーター になりませんか？

北海道の福祉活動を財政面で支援する赤い羽根共同募金運動を応援するため、道内スポーツチーム等が応援サポーターとして募金活動やチャリティイベントを実施しています。

登別市共同募金委員会においても、市内の共同募金運動を応援いただける企業、団体を募集しています。

バツジをつけて応援！ 地域貢献につながります！

赤い羽根共同募金にご当地バツジを着用いただける企業や法人を募集しています。

社員の皆さんにバツジを着用いただくことで、赤い羽根共同募金のPRだけでなく、登別のPR、企業の地域貢献へのPRにもつながります。

一定数以上の場合にはオリジナルデザインのバツジを製作することも可能ですので、企業のほか、多数の参加がある行事や大会の記念バツジとして等気軽にお問合せください。(バツジは500円の寄付につき1つの進呈です)

寄付金付き商品で応援！

自社製品を寄付金付き商品として販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金へご寄付いただく仕組みです。商品のPRや地域貢献にもつながります。

また、昨年からの布の絵本ボランティアの会のご協力により、手作り布マスクを作成いただき、社会福祉協議会の窓口で寄付金付き商品として販売しています。



ポスター掲示で応援！

商店・企業の入口等に赤い羽根共同募金のポスターを掲示しPRしていただきます。北海道の赤い羽根応援サポーターである北海道日本ハムファイターズ、北海道コンサドーレ札幌、初音ミク等様々なポスターがあります。

また、店頭に設置できる募金箱や寄付金付きバツジの販売セットもありますので、店舗等で設置、PRしませんか。

共同募金は損金算入できます

共同募金への寄付は、指定寄付金として認められており、法人・企業が共同募金に寄付をした場合には、その全額を損金に算入することができます。また、個人についても共同募金に2千円以上の寄付をした場合には、所得税や住民税への優遇措置がありますので、詳しくはお問い合わせください。

北海道共同募金会 功績者感謝状の伝達を行いました

日頃より共同募金運動にご尽力いただいている左記の団体に北海道共同募金会(以下「道共募」)より感謝状の贈呈があり、道共募会長に代わり本会事務局長より伝達を行いました。

【令和2年度功績者感謝】

- ・布の絵本ボランティアの会
 - ・はまわしの会
- (順不同・敬称略)



▲布の絵本ボランティアの会さん

～ご当地バッジデザインコンテスト受賞作品～

【最優秀賞】



なかむら なぎさ
中村 渚咲さん

【優秀賞】



すみよし すくる
住吉 傑さん

【共募会長賞】



やまくち みずき
山口 瑞葵さん

【社協会長賞】



おおはた そう
大島 蒼さん

【アイデア賞】



しらいし ちな
白石 千奈さん

今年のデザインはこちら！



1個 500円

2021年度
ご当地バッジが完成しました

お問い合わせ先

登別市共同募金委員会

電話：88-0860
FAX：88-4546

※お電話をいただければお届けに何つことも可能です。
個数に問わずお気軽にお問い合わせください。

- 登別市役所内母子会売店（中央町）
- 登別中央ショッピングセンターアーニス（中央町）
- 登別パークサーピスセンター売店（登別温泉町）
- のぼりべつクマ牧場（登別温泉町）
- 登別市民会館（富士町）
- 驚別公民館（驚別町）
- 登別市社会福祉協議会（片倉町）
- 市内イベント時の赤い羽根共同募金ブース 等

ご当地バッジ取り扱い場所

今年のデザインは登夢くんとクマが赤い羽根と一緒に登別のまちに元気と笑顔をたくさん届けてくれますようにとの気持ちを含めたデザインとなっています。
デザインは毎年変わるため、同じバッジはその年にしか進呈できません。バッジのコレクションや登別を訪れた方へのプレゼントとして、ぜひ楽しみながら赤い羽根共同募金へのご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金のご当地バッジは、500円の寄付につき1つ進呈させていただき、寄付額から製作費を除いた金額が、翌年にそのまちで行われる地域福祉活動への助成として還元されます。
登別では日本工学院北海道専門学校CGデザイナー科の皆さんに、登別市PRキャラクター「登夢くんと登別のイメージ」を掛け合わせたデザインを作成いただいております。市内だけではなく、市外からも問い合わせがあるほか、観光客にも好評となっています。

登別市内限定！工学院学生デザイン

その他、たくさんのデザインをいただきました！



受賞作品を合わせて22作品ものデザイン案をいただきました。ご協力いただいた日本工学院北海道専門学校CGデザイナー科1年生の皆さん、ありがとうございました！

ボランティア活動ICT 強化事業をぜひ活用ください

登別市ボランティアセンターでは、コロナ禍でもオンライン（インターネット）を活用してこれまでの住民・ボランティア・施設つながりや活動を継続することができるよう、「ボランティア活動ICT強化事業」をスタートしました。ボランティア活動に関するオンラインでの困りごとをお手伝いします。



例えばこんな時に

- ・オンライン会議に参加したいので手伝ってほしい。
- ・定期的集まって総会を持つことが難しいので、会の連絡をLINEでできるような教えてほしい。
- ・施設の利用者に向けてオンラインで演奏をしてほしい。

機材の準備や内容の調整にお時間を要する場合がありますため、ご希望の際は、お早めにお問い合わせください。



▲詳細はホームページへ

問い合わせ先

登別市ボランティアセンター（登別社協内）

☎ 88-2080

寄付者のご紹介（2021年4月1日～2021年7月31日）

（敬称略/単位：円）

受領年月日	寄付者名	寄付金額	寄付の目的
2021.04.05	宗教法人 松緑神道大和山	60,000	前年度に開催したバザーの益金の一部を社会福祉のために
2021.04.20	室蘭民報社胆振中部支社	30,000	「新入学児童」新聞広告料の一部を社会福祉のために
2021.05.06	石坂光汰朗	2,844	社会福祉のために
2021.05.07	匿名	30,100	社会福祉のために
2021.05.10	匿名	5,000	社会福祉のために
2021.05.11	匿名	2,636	社会福祉のために
2021.05.12	バリアフリーネットワークつばさの会	14,193	同会の解散にあたり社会福祉のために
2021.06.10	匿名	320	会議での費用弁償を社会福祉のために
2021.06.21	匿名	3,373	社会福祉のために
2021.06.29	匿名	100,000	生前、妻がデイサービスセンターでお世話になった感謝の意を込めて社会福祉のために
2021.06.30	国際ソロプチミスト登別	30,000	チャリティーオークションでの益金の一部を社会福祉のために
2021.07.06	匿名	30,000	生前、夫がデイサービスセンターでお世話になった感謝の意を込めて香典返しの一部を社会福祉のために
2021.07.07	岡村貴幸	4,470	ROUTE 36 ロゴステッカーの売り上げの一部を社会福祉のために
2021.07.09	匿名	2,694	謝礼金を社会福祉のために
2021.07.09	匿名	2,694	謝礼金を社会福祉のために
2021.07.21	新和産業株式会社	50,000	市内子育てサロンのおもちゃ等の物品購入のために
2021.07.26	久納政一	500	社会福祉のために

愛の小箱等設置協力者のご紹介（2021年4月1日～2021年7月31日）

（敬称略/単位：円）

受領年月日	設置協力者名	寄付金額	種別
2021.04.28	登別中央ショッピングセンター アーニス	1,100	ガチャガチャ
2021.04.28	匿名	2,261	愛の小箱
2021.05.06	いずみ亭	29,053	愛の小箱
2021.05.26	登別中央ショッピングセンター アーニス	700	ガチャガチャ
2021.06.24	登別中央ショッピングセンター アーニス	500	ガチャガチャ
2021.07.16	ふれあいの店	7,942	愛の小箱
2021.07.21	いずみ亭	25,127	愛の小箱
2021.07.28	登別中央ショッピングセンター アーニス	1,510	ガチャガチャ

寄付物品のご紹介（2021年4月1日～2021年7月31日）

（敬称略）

受領年月日	寄付者名	寄付物品名
2021.04.12	イオン北海道(株)マックスバリュ登別店	黄色いレシートキャンペーンイオン専用ギフトカード
2021.06.02	イオン北海道(株)イオン登別店	黄色いレシートキャンペーンイオン専用ギフトカード

社協新体制のご報告

この度、任期満了に伴う役員（理事・監事）及び評議員の改選があり、6月22日開催の理事会にて三役が選定されましたので、ご報告します。

役員

任期：2021年6月22日～2023年度
定時評議員会終結のときまで

- ・ 会 長 山田正幸（再）
- ・ 副会長 中川信市（再） 太田 通（再）
- ・ 常務理事 藤江紀彦（再）
- ・ 理 事 雨洗康江（再） 田中秀治（再）
鈴木高士（再） 工藤保秋（再）
田淵純勝（再） 島山基子（再）
永山雅一（新） 山田則子（新）
- ・ 監 事 三浦忠夫（再） 俵藤亥久生（新）

評議員

任期：2021年6月22日～2024年度
定時評議員会終結のときまで

- 田代健二（再） 齋藤正史（再） 藤田修靖（再）
- 田中恭介（再） 田畑恒義（再） 森 芳昭（再）
- 島田幸一（再） 桑井孝子（再） 瀧川正義（再）
- 南 行雄（再） 中原義勝（再） 安達陽子（再）
- 星川光子（再） 辻 勲（再） 後藤裕之（再）
- 竹中洋子（再） 名波俊昭（再） 志水孝暢（新）
- 木村純一（新） 竹中脩蔵（新）

まちびとのまぢびと

このコーナーでは、地域で精力的に活動されている方のきずな活動に対する想いや、これからの活動の展望などをお伝えします。

今回は、中央東地区民生委員児童委員協議会の会長を務める竹中洋子さんにお話を伺いました。

「身近な相談役として」

中央東地区民生委員児童委員協議会会長

竹中 洋子さん（幸町）



子育てがひと段落した40代の頃に始めた介護ヘルパーの仕事の中で、利用者のお一人として元民生委員・児童委員の女性と出会い、お話を聞く中で民生委員・児童委員のことが私の心に残るようになりました。その後通信教育で社会福祉士の国家資格を取得し、障がい児に関わる仕事をする中、前任者が退任されるタイミングで民生委員・児童委員をお引き受けることになり、現在14年目になります。

当初、私の担当地域では深刻な課題やお手伝いの必要な世帯はほとんど無い印象でしたが、地域の皆さんも年々歳を重ね、高齢になることでの身体面の課題や、複合的な課題を伴った世帯が増えてきたと実感しています。地域の方々と関わる中で私が大切にしていることは、「ご本人の意思」を尊重することです。認知症状が進

くまちびとには、登別のまぢの人の、問題と人をマッチングさせる人、布の長さを補うまぢのよう地域を補う人という意味が込められています。

行している高齢の方の場合には、一概に本人の望むように対応できないこともあり難しさを感じますが、地域の皆さんが困り事を気軽に相談できるよう、日頃からの関係づくりを大切にしています。

民生委員・児童委員の活動に対しては、委員それぞれに考えや捉え方があると思いますが、私は地域の一番身近にいる相談役だからこそやるべきことがあり、同時にできることがたくさんあると考えています。ですが、それはすべてを一人で抱え込み解決するというのではなく、専門機関や町内会と積極的に連携を図り共に課題解決に進むことです。一人で抱え込まず誰かに相談することの大切さは、他の委員にも伝えていきます。

課題を抱えていた方の生活が改善し、前向きに暮らしている様子を見るとやりがいを感じますし、高齢でも笑顔で日々を過ごされる方々にお会いすると、私も元気になれます。コロナ禍で地域のつながりを持ちにくくなる中、世帯の実情や抱える課題にも変化が見られますが、今後も専門機関等と連携を図りながら、日々の活動を続けたいと考えています。

民児協との連携により 事業を拡充します

新型コロナウイルス感染症の影響により地域の状況が変化していることを受け、登別市民生委員児童委員協議会と登別社協では、「つながり」と「安心した暮らしを支える」をキーワードとした取り組みを進めます。

◆つながり応援プロジェクト

遠方の家族になかなか会えず寂しい想いを抱える方や、面会が中止のため入院・入所した家族と会えない方がいます。

「つながり応援プロジェクト」では、オンラインを活用して顔を見て話すことのできる機会をつくり、長引くコロナ禍に伴う要望に応えます。

登別社協へ事前に希望日時と通話相手の情報を連絡いただき、当日タブレットを持って民生委員・児童委員が自宅を訪問し、家族等とのテレビ電話をお手伝いします。



【利用時間】原則平日9時～11時

(夜間休日相談可)

【利用料】無料 通信時間1回30分まで
(年4回まで利用可)

久しぶりに顔を見ながらのおしゃべりを楽しみましたという方は、登別社協へお問い合わせください。

◆コロナ対応急生活支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響による失業や減収で、困窮状態に陥る世帯が増えています。支援によって生活の立て直しが見込める場合、一時的に食料品や生活物品等（一週間分程度）を無償でお渡しする「応急生活支援事業」を拡充しました。

今後はコロナの罹患によって外出ができない単身世帯等も対象となります。

登別社協で相談

を受け、必要に応じた物品を提供し、後日民生委員・児童委員が訪問する仕組みです。この機会に民生委員・児童委員とつながることで、日頃から相談できる関係性づくりを目指します。



▲6地区の民児協会長による物品寄贈

民生委員・児童委員とは

厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、自らも住民の一員という立場で生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行います。相談等は無償で、プライバシーは守られます。

登別市では6地区（登別、中央東、中央西、緑陽、美園・若草、鷺別）の協議会と132人の定員で構成されています。

町内会に加入しましょう

町内会では皆さんの暮らしをより良いものにするため、次のような取り組みを行っています。

- ① 市内の情報提供
発行される広報物等を、町内会を通じて回覧・配布しています。
- ② 誰もが安心して暮らせる地域づくり
防犯灯の設置および維持管理や災害に備えた防災活動、地域の民生委員・児童委員と連携し高齢者や障がい者への見守りや支援を行っています。
- ③ 清潔で快適なまちづくり
ごみステーションの管理や花壇づくり、道路の清掃、資源回収活動を行っています。
- ④ 会員相互の親睦交流
地域のお祭りや敬老会、健康教室等を開催しています。また、子ども会を組織し、青少年の健全育成にも努めています。
- ⑤ 地域課題への対応
地域や町内会の生活課題について、行政や関係機関と連携し、課題解決に努めています。

その他、各町内会によって様々な活動が行われています。町内会活動は住民同士の支え合いの形です。子どもから高齢者まで、地域に暮らす全員で支え合っていくためには、皆さんの理解と協力が必要です。加入方法等、お気軽にご相談ください。

登別市連合町内会

登別市中央町6丁目11番地
登別市役所 市民協働グループ内
事務局 ☎84-11079